

# 第1回「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」講習会開催 依存(のめり込み)問題対策強化の二環 講習会には約550余名が参加 同講習会は8月までに6回開催の予定



全日本遊技事業協同組合連合会(阿部恭久理事長)は4月24日、東京港区・新橋ヤクルトホールにおいて、東京都遊協との共催で、第1回「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」講習会を開催。都遊協の組合員約400名、都府県遊協関係者約100名、全日遊連以外のパチンコ・パチスロ産業21世紀会関係者約50名が参加した。



講話を務める阿部恭久理事長

同講習会は、遊技客に対して依存(のめり込み)問題への適切な対応ができるホール担当者育成し、各店舗に配置していくためのもの。業界における同種問題への対応で警察庁からの要請を受けたものの内、全日遊連が軸となって取り組むことになっていったもので、その第1回目の講習会となった。この講習会には約550余名が参加。講習会終了時には、21世紀会名で参加者に修了書が手渡された。

\*「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」とは、各ホールにおいて、お客から遊技に関する



講話を務める西村 健之代表理事

質問などを受けて、依存問題を抱える方の相談があつた場合は、RSNへの電話相談や精神保健福祉センターの紹介などを行つて、依存問題の解決に向け、RSNを側面から支援する役割を担う。

ホール内のアドバイザー等の取り組みは、全日遊連だけでなく、業界全体の総意としての取り組みとなっていることから、講習会の冒頭、21世紀会の代表を務める全日遊連の阿部恭久理事長が、「遊技業界の依存問題への取り組みについて」と題し



講話を務める 栗山 昌人氏

て、「依存問題取り組み強化の背景と経緯」「遊技業界における依存問題の取り組み(従来)の取り組みと今後の強化策について」我々としては、取り組みの基本は、過度ののめり込みをさせないための取組みとの認識にあり、依存症といった言い回しを使っていない」とIR開設に向けて政府がまとめた論点整理の内容(12月7日に施行されたIR法案について、カジノに関わらず、他のギャンブルにおける依存症対策を抜本的に強化することが、衆参両院の付帯決議として盛り込まれた。このこと

未来へのチャレンジ

MORISO 株式会社 森創

〒481-0035 愛知県北名古屋市宇福寺村上39番地  
代表TEL 0568-21-3111 代表FAX 0568-26-0660  
URL <http://www.moriso.jp/>

により、ギャンブル依存症等全体について関係行政機関と連携の下、政府一体となって包括的な対策を推進することを明示した。依存症対策について行政は、以下の点を指摘している。

リカバリーサポート・ネットワークとの関係体制の強化・充実、18歳未満の営業所内の立入禁止措置の徹底等8点が示された。遊技を含めたギャンブル依存症対策法案が国会提出されるのは時間の問題を示すとともに「アドバイザー設置の理由と位置づけ、今後の在り方」について説明、理解と協力を呼び掛けた。

続いて、リカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表理事が、アドバイザーが認識しておくべき依存問題の基本知識等を解説。西村代表は、パチンコが持つ良い面（○日本のどこでも同じ基準の機械で遊べる○幅広い世代が、同じ場所で遊ぶことができる○日常の中で遊ぶことができる○気分転換、暇つぶしになる○ちよつとしたドキドキ感を得ることができる○人付き合いが苦手な人も楽しむことができる○一人でも、連れ立っても遊ぶことができる）を例示する一方、「残念ながら、程度が過ぎると悪い面（○適度で済

まず、過度にのめり込む人が出てくる○日常の生活に負担をかけてしまう○嫌なことがあるとパチンコに逃避してしまう○他の楽しみや活動に興味を持たなくなる○全く自己制御が不能になる人が出てくる）も出てくるが、これは商業娯楽が持つ宿命的なものであり、良い悪いの問題ではない。楽しいものは人のめり込むように出来ており、ただしこれが度を越して習慣化すると問題が生じてくる。こういう問題をどのようにしてコントロールしていくかが課題で、これを今までは大事にしていなかった」と述べ、依存問題への対応の重要性を強調した。西村代表理事は、依存対策の目指すところは、○暮らし、仕事、余暇の適度なバランス作り○一まあ、いいんじゃない」と、片目をつぶってもらえる程度の問題であることとし、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の意義は、○長く・楽しく遊んでもらうためのお手伝い○問題が起きにくい雰囲気づくり○問題ある遊び方に「気づきつきっかけ」を提供する○問題ある遊び方を変えていく「情報」を提供する○パチンコのイメージを向上させる○娯楽の楽しさを減らさない啓発、情報発信○ユー

ザーの声を生かした対応サービスの発見○通常接客の質を少し高めるイメージで、をポイントとした。

また、アドバイザーの役割と心構えについて、日遊協の依存問題プロジェクトチームの一員として同問題に取り組んできたホール企業のサンキョー株の栗山昌人氏が、一般的なクレーム（スタッフの接遇、ホール環境、他の遊技客のマナー、機械・設備のトラブル等）話を伺って、あるいはアドバイスをして、一時の感情を落ち着かせる」と依存が疑われるクレーム（お客同士のお金の貸し借り、出ない、当たらない、パチンコのせいで生活が苦しい）自己申告プログラム案内、リカバリーサポート・ネットワーク電話相談の紹介）の見分け方などを軸に解説した。

められない／止めきれず出入り禁止の希望／生活費に手を付けてしまった、1ヶ月○〇十万も使ってしまった、ポーンスを使い切ってしまった／RSNホール内ポスターやアプリなどの「自己診断チェック」でのめり込みに当てはまると尋ねられた／スタッフのめり込み。家族からの相談例→妻の立場、家族からの止めさせたい／入店禁止の願い／認知症があるお客様の家族からのもの。

講習を総括した西村代表理事は、「日本で最も市場規模が大きい娯楽産業であり、依存問題が社会に与える影響は少なくない。ここまでのレベルで依存問題に着手しているのは日本では遊技業界のみであり、業界の皆さんがこれを共有し、きちんと行うことで、世界標準の対応と評価されるようになる」と述べ、制度の意義を強調した。

講習会の最後は、西村氏と栗山氏で、遊技客からの相談に対する実際の対応例が示された。相談例（詳細は割愛）は以下の通り。本人からの相談例→寂しいので離れきれない／ストレスでついついパチンコをやつてしまふ／感情的になり自己制御が悪くなっている／止めたいが止

講習会の最後は、西村氏と栗山氏で、遊技客からの相談に対する実際の対応例が示された。相談例（詳細は割愛）は以下の通り。本人からの相談例→寂しいので離れきれない／ストレスでついついパチンコをやつてしまふ／感情的になり自己制御が悪くなっている／止めたいが止



株式会社

NAITO

本社

〒470-0224

愛知県みよし市三好町川畔116番地

電話0561-33-1520